



図 10 ミヤマキケマンの確認地

観察・撮影がミヤマキケマンの発見という思わぬ結果につながった。最初の確認地がエゾキケマンであったなら、単なる種子撮影に終わっていただろう。本種が足元に多数あったことが幸いした。

### 謝辞

本会会員長谷昭氏には菅原繁蔵氏の標本ほかの情報いただいた。また、本会事務局の五十嵐博氏には文献情報をいただい

た。記して感謝申し上げます。

### 引用文献

大井次三郎・1992. 新日本植物誌顕花篇 改訂版・至文堂, 東京.

北村四郎・村田源・1992. 原色日本植物図鑑 草本編 [III] 離弁花類・保育社, 大阪.

菅原繁蔵・小松泰造・1959. 函館山植物誌. 市立函館図書館, 函館.

市立函館博物館・1997. 市立函館博物館蔵品目録 8 植物篇. 市立函館博物館, 函館.

福原達人・2016. ケシ科 PAPAVERACEAE. 大橋広好ほか(編). 改訂新版日本の野生植物 2, pp. 103-108. 平凡社, 東京.

松井洋(編)・高橋英樹(監)・2015. 北海道維管束植物目録. 自費出版, 札幌.

山岸裕貴・首藤光太郎・2023. 北海道におけるミヤマキケマン(ケシ科)の分布について. 植物地理・分類研究 71(1): 73-78.

## 会員が撮影した湿原・湿地④

撮影：佐々木 純一



ホソバウキミクリ陸生型 夕張岳前岳湿原  
2020.8.19